

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	まめのき		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		~ R7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		~ R7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 2月 25日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	広い訓練室の中で、友達同士がぶつかることをも気にすることもなく、個々の特性に合わせた支援をおこなっています。	勉強スペース、遊びのスペース、クールダウンのスペースと広めにとることで、気持ちの切り替えがスムーズにできるようにしています。	それぞれスペースにおいて、職員が見守る中で子供たち同士のコミュニティを作るお手伝いをさせていただきます。
2	月に1回、土曜日に屋内と屋外でイベントを行っており、いつもの時間帯とは異なる友達と交流が出来るようにしています。	いつもの集団療育とは異なるプログラムで子供たちの違った一面を引き出させればと思います。	いもほり、運動会など保護者同士が交流できるイベントを行い保護者同士の交流ができればと思います。
3	送迎時は支援を行った職員が保護者と話が出来るように、出勤職員が送迎を行っています。	職員が直接保者と話しすることで、リアルタイムな情報を伝えることができます。	ミーティング内容をIT技術を用いてより簡単にわかりやすく職員同士での情報を共有できるように考えています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	トラブルが起こった時に、たまに対処が遅れることがあります。	職員同士の連携不足や施設内子供たちの行動を把握できていない時があります。	送迎後のミーティングで問題点や反省点、改善点を共有して、職員全員が利用している子供たちのパーソナリティを把握していくことを目指します。
2	毎年の課題ですが、保護者同士の繋がりがまだ要望通りにはなっていないと思います。	年に数回の親子イベントを行っていますが、普段利用している平日の交流も必要かもと思います。	保護者通しが繋がるように、職員が橋渡しをしていますが、機会・回数が少ないので十分交流ができていないと思います。
3	長期休暇時は1日を通して支援を行うことが出来ない。	長期休暇時は児童発達支援が午前中にあるので1日を通して支援を行うことが出来ず、通学時と同じような支援になってしまいます。	将来的には放デイのみの施設を立ち上げて、1日を通して支援が出来るような環境を整えられるようにしていきたいと思っています。